

2021 年度実施概要

学校名

横浜市立みなとみらい本町小学校

採択活動名

大好き！横浜の海 ～海とまちとのつながりから考える 持続可能な取り組み～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 3年2組 海の生き物調査隊	3年	総合的な学習の時間
2. 5年1組 海の生き物を守り隊 ～ゴミを減らして持続可能な海へ～	5年	総合的な学習の時間
3.		

取り組みの概要

3年生は、高島水際線公園の人工干潟の生き物調査に取り組んできた。理科の学習から生き物を大切にしたいと考えた。そして、図書室で生き物について調べるうちに、海の生き物や海洋ごみについて興味をもった。そのため、人工干潟に足を運び、生き物調査を行った。生き物を傷つけずに調査、観察するために罟を仕掛けて捉えることになり、試行錯誤しながら罟を手作りし、仕掛けた。

生き物の習性などを調べたり漁の仕掛けについて調べたりして、罟を制作した。実際に仕掛けてみると思ったようにいかず、悔しい思いもしたが、「みな」と「みらい」を語る会で保護者から助言をもらい、改善点を見つけ、ハゼを捕らえることに成功した。しかし、そのハゼを死なせてしまい、自分たちが自然に対して与える影響について、より深く考えるようになった。活動をする中で、身近な自然の大切さ、豊かさ、そして自分たちがその自然の営みにかかわっていることにも考えが広がってほしいと考え、活動を進めた。

5年生は、みなとみらいの海岸環境整備に取り組んできた。当初は、「ゴミを一つ残らずなくしたい。」とゴミをなくすことを意識していたが、空き缶や菓子の袋などが生き物の隠れ家になっていることを、生き物観察を通して気づいた。そして、景観も大事にしつつ、生き物の住処となる海になるようにしようと考えた。

教室にカニ、エビ、ハゼが入っている水槽を作り、生き物が住みやすい環境について、生き物の動きを観察しつつ考えた。みなとみらいを語る会で保護者の方から意見をいただき、「その環境がいいから生き物が集まるので」との意見を聞き、無理の環境変えようとするには生き物へのダメージがあることに気付いた。継続的に高島水際線公園に出入りすることで、四季による景観や生き物の変化を感じ取ることができ、多くの人に海の豊かさとともに問題について関心を広げてほしいと考え、活動を進めた。

活動中の写真

デジタルデータにて2～3枚の添付をお願いします。

(本ファイルへの貼り付け、別ファイルでの添付、どちらでも構いません)